令和8年度　第2回　学校運営協議会議事録

掲載

校名	府立泉尾工業高等学校
校長名	井上　泰治

開催日時	令和 8 年 11 月 6 日（金） 9:30～10:30
開催場所	本校　本館 1 階　校長室
出席者（委員）	大城　恵奈（会長）・大谷　恭子（副会長）・松村　隆（委員） 川上　満（委員）・岩田　英樹（委員）・和田　康彦（委員）
出席者（学校）	井上　泰治（校長）・吉田　充行（教頭）・宮内　修司（事務長）
傍聴者	なし
協議資料	学校の現状報告・令和 8 年度「学校経営計画及び学校評価」進捗状況
備考	なし

議事等次第順

校長挨拶

1. 学校の現状について

2. 令和 8 年度「学校経営計画及び学校評価」進捗状況

3. その他

閉会のことば

協議内容・承認事項等（意見の概要）

1、学校の現状について

・在校生徒数　239 名　2学期に入り全体的に落ち着いた雰囲気で学校生活を送っている。

・新工業系高校について（令和 10 年度開校予定）

府立高校再編整備で本校・東淀工業・生野工業の3校が閉校となり新校開校。（現東淀工業校地）

校名はフィオーレ高等学校（仮称）

入学者選抜については令和 10 年度から募集開始

新工業系高校カリキュラム検討会議に本校より4名参加

2、令和 8 年度「学校経営計画及び学校評価」進捗状況

・教員の授業改善

授業力向上チームの設置（R6～）

授業アンケート振り返りシートを用いた授業改善の実施

管理職授業見学　年2回　　今年度からリモート授業見学1回　　計3回実施

教員間の相互授業見学・授業参観の実施

公開授業（初任者、10年目経験者）研究協議の実施

オンライン授業実施に向けての準備

・基本的生活習慣の確立（遅刻指導）

年間 1200 件以下とする目標を共有し、教員全体で粘り強く指導を行っている。特定の生徒の遅刻が多く、累計で、のべ人数が増加した。10 月末時点 885 件(R6 819 件) 年間 1400 件程度の見通し。

新入生スクリーニング会議を実施、授業担当者と担任で情報共有し生徒個々に応じた対応について検討

・ICT を活用した校務の効率化（働き方改革）

運営委員会・職員会議についてペーパーレスで実施

全校ポータル連絡掲示板や共有フォルダ内での情報共有が浸透してきている

保護者への連絡や案内、遅刻・欠席連絡については本年度からさくら連絡網を活用

・特色・魅力発信・企業等連携

① JR 西日本・大阪市立デザイン教育研究所とのタイアップ企画　スキマモリの作成（ホールガーメント）
ファッション工学科3年生がマスコット「スキマモリ」のぬいぐるみ作成

② AI（copilot）活用講習会　開催
1回目実施済、2回目12月実施予定

③ 大阪府教育センターと連携した職員研修の実施
教員向け講習会を6月に実施

④ 学校広報プラットフォームによる広報活動支援
閉校に向けたデジタルコンテンツ制作のアドバイス、活動支援

⑤ 10/28 開催　電業協会主催　第58回電気工事士技能競技大会（高校生の部）技能賞

⑥ Safety Bicycle 推進校としての取り組み

・令和 8 年度進路状況

3年在籍者数 74.名　学校紹介就職希望者 47 名（64%）進学希望者 22 名（30%）その他5名（6%）

10 月末時点での内定者 36 名（77%）　進学希望者の割合が年ごとに増加傾向

ご意見）

・オンライン授業についての基準などはあるのか

→オンライン授業を行わないといけないかどうかは、その時の生徒の状況によって判断をおこなう。基本的には長期にわたる入院など学校へ登校したくてもできない場合を想定している。

・機械科・電気科の在籍数の減少が目立つが原因はあるのか

→本校の学校見学会や体験授業などを通して各科について説明しているが、そういった見学会などに参加せず、受験して入学する生徒が多くなってきている。とくに機械科・電気科は他の工業高校にもあるため、1年生の段階で進路変更をする生徒が多くなっていると考えられる。

次回の会議日程	
日時	令和 9 年2月中旬
会場	本校　本館1階　校長室